



# まちづくり通信



## 今回のテーマ:小さな町だからこそできるあたたかい子育て支援

神川町は、子育て先進国フィンランドの歴史のある子育て支援制度「ネウボラ」を参考に、「小さな町だからこそできるあたたかい子育て支援」を目指しています。妊娠・出産・子育てを切れ目なく継続的に支援する「神川版ネウボラ」として様々な事業を展開しています。

問合せ 子育て相談窓口  
☎0495-74-0205  
FAX0495-77-2117

### 主な取り組み

#### ●妊娠届・出生届出時から始まる保健師とのつながり

保健師が身近な相談相手として育児のサポートができるよう、まず妊娠届出時に保健師が面談をしています。その後、訪問や電話相談等を通じて、子育て家庭の気持ちに寄り添い、傾聴と対話を大切にしながら、子育てを支援しています。

#### ●育児パッケージ

日本で唯一のフィンランド製のマザーズバック等を贈呈し、赤ちゃんが生まれた家庭をお祝いします。



#### ●赤ちゃん訪問

生まれた赤ちゃんに保健師が全戸訪問しています。

#### ●にこにこ相談

妊婦さんの健康から子育ての相談を毎週水曜日に行っています。月に1回は子育て支援センター(丹荘保育所内)でも実施しています。子育て支援センターに遊びに行きながら、保健師への相談やお子さんの身長・体重を計測できます。



#### ●なっちゃん広場

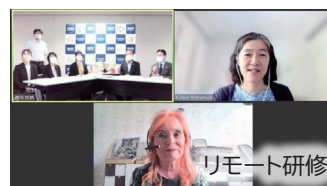
子育ての不安が高まりやすい産後1年間にみんなで集まり、赤ちゃんとのふれあい遊びや産後フィットネスを行っています。

#### ●母子愛育会

昭和31年に発足し、町の子育て支援を応援している地域組織です。見守り活動や未就学児への遊び場の提供、結核予防の活動などを行っています。12月7日(水)実施予定の「ふれあいの広場」では、クリスマス会を開催します。詳しくは、広報かみかわ11月号をご覧ください。

#### ●保健師スキル向上のためフィンランドとリモート研修の実施

ネウボラのパイオニアであるフィンランドのハクリネン博士から子育て支援策を学び、科学的な知見に基づいて支援を行えるよう努めています。



### ITも活用しています！

#### ●オンライン相談の実施

コロナ禍でも安心して相談ができるようZOOMで育児相談ができます。

#### ●子育てアプリ「すくすく神川こそだてナビ」(令和4年8月からスタート)

町からのお知らせや、乳幼児健診・予防接種の予定日をスマートフォンのプッシュ通知で受け取れます。



## その他の主な子育て支援策

### ●こども医療費支給事業(18歳まで対象)

町に住所がある0歳から18歳到達後の最初の3月31日(高等学校卒業の学年)までのこどもが、医療保険制度で医療機関等にかかった場合に、医療費の一部が給付される制度です。

### ●学校給食費の無償化

町では、子育て支援推進のため、町内の小中学生の給食費無償化を実施しています。

学校給食費無償化の目的は、保護者においては経済的負担の軽減、町においては子育て環境の向上や少子化対策、転出を抑制し転入・定住を促進することなどです。

無償の対象は、町内在住で町内の小中学校に在籍する小中学生に提供される給食です。

また、町内在住で町外の小中学校等に就学する児童生徒の給食には、補助金を交付しています。



## 今回のテーマに関するご意見をお寄せください

「まちづくり通信」をお読みいただきありがとうございます。今回取り上げた「子育て支援」について、皆様からのご意見を募集します。下記のテーマを参考に、町民の皆さまの率直なご意見をお寄せいただきますよう、お願いいたします。意見の送付方法は下記の通りです。

【締切】  
11/15(火)

### ①「まちづくり提案箱」に投函

本面下部の用紙を切り取り、町が設置している「まちづくり提案箱」に投函してください。



#### 【設置場所】

役場(本庁舎1階)/神泉総合支所/中央公民館/保健センター/ふれあいセンター

### ②「電子申請」を利用して投稿

2次元バーコードを読み取り、「神川町電子申請・届出サービス」へアクセスしてください。



✂ 切り取り線 ✂

## <子育て支援に関するご意見>

※お名前、年齢、性別についての記入は任意です。

「かみかわまちづくり通信」  
令和4年10月15日号

お名前

年齢

性別

男・女

#### 【テーマの一例】

- ネウボラについて
- 子育てアプリについて
- 子育て支援策について
- その他神川町の子育て全般について など

テーマ